

一般質問通告書

受領日時 令和6年11月27日 (午前)・午後 9時 46分 1番 氏名 小玉 正範

質問項目	質問の要旨
1 昨年の水害関連	(1)昨年7月の内水氾濫から始まる水害の経緯について 本年2月18日実施のワークショップにより、昨年7月におきた水害について、各町内から時系列で水害の経緯に関するデータが集まったと思われる。全体像として、水害発生の際の経緯(内水氾濫・河川氾濫・住宅地浸水の経緯等)を、町の公式見解として今後公表するのか。 (2)馬場目川の維持修繕工事について 馬場目川の維持修繕工事は、町内3河川の河川工事とは別に毎年行われると理解している。本年は、馬城橋周辺から磯ノ目大橋までの河川の土砂と砂州の除去を行った。来年はどこか。どのような計画になっているのか。
2 役場の未来像	(1)今後どのような役場を目指していくのか 役場のDXが完了すると、窓口の在り方が変わり、これまでとはちがった町民との関わりが必要になることも予想される。今後、町民にとって、また職員にとって、どのような雰囲気のある役場を目指していくのか。 (2)意見箱の活用について 役場一階に町長への手紙として意見箱が設置されている。一年間の利用率(投書数)はどうか。また、この設置場所は適切か。町民の直接的な声である手紙の活用の仕方はどのようなになっているのか。
3 住環境整備	(1)街灯設置のルールについて 現行の街灯設置のルールは、いつどのような経緯で決められたのか。最近では夕暮れ時、各町内を歩いていると道路が暗くて危ない。もう少し、街灯を設置してもらえないか、との声を聴く。町民にとって住みやすい町の構築と安全のために街灯を増やせないのか。 (2)町の景観から見た空き家対策 他の町同様、本町においても空き家が目立ち、さびれた印象を与える。特に、数十年前からの大規模な廃屋は、落書きがされていたり、危険性も感じられ、目立って町の景観を悪くしている。このような廃屋について解体の見直しはあるのか。
4 林業を基にした産業の活性化	(1)町有林構想について 私有林を町が買い上げ、町有林にすることにより、山林の大規模な整備を進め、林業を植林から伐採・販売まで50年サイクルの軌道に乗せるとともに、山を活用した山菜の町、山の散策路で健康作りの町等、新たな町の産業を大胆に創り出す展望はないか。 (2)植林する木について 現在、植林する木は杉だけとなっているようだが、県によって銘木は異なっている。町として、杉だけではなくそれ以外の付加価値の高い木を植林することによって、将来的に再び新しい木材の町にする等という意向や将来への展望はないだろうか。

